

## 令和7年度 学校評価 生徒(中学部・高等部)アンケート(結果)

◆ 実施期間

令和7年12月8日(月)～12月24日(水)

◆ 評価基準

4 = 十分達成 (80%以上達成)      3 = おおむね達成(60%以上達成)

2 = やや不十分 (40%以上達成)      1 = 不十分 (40%未満)

◆ 評価ランク

A = 3.5以上      B = 3.0以上3.5未満      C = 2.5以上3.0未満      D = 2.5未満

◆ 回答数

中学部生徒 5人 高等部生徒 9人 全体 14人 (回答率100%)

	評価項目	中 R6		高 R6		全 R6		ランク		
		平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差			
1	私の学校生活は、楽しくて充実していると思う。	3.40	3.60	B	3.33	3.33	B	3.36	3.54	B
2	先生たちは、授業で分かりやすく丁寧に教えてくれると思う。	3.60	3.30	A	3.56	3.00	A	3.57	3.23	A
3	学校の施設や設備は、安全で使いやすいと思う。	3.20	3.30	B	3.33	3.67	B	3.29	3.38	B
4	先生たちは、自分の困っているときや悩みがある時によく相談にのってくれると思う。	3.00	2.70	B	3.11	3.00	B	3.07	2.77	B
5	友達との関係は、うまくいっていると思う。	3.40	3.70	B	3.67	3.00	A	3.57	3.54	A
6	学校行事や学部行事は無理なく参加できて、充実していると思う。	3.40	3.60	B	3.44	2.67	B	3.43	3.38	B
7	私は、社会や集団の決まりを守って規則正しく生活していると思う。	2.80	2.90	C	2.78	3.33	C	2.79	3.00	C
8	私は、将来の夢の実現に向けてよく努力していると思う。	3.60	3.00	A	3.11	2.67	B	3.29	2.92	B
		3.30	3.26	B	3.29	3.08	B	3.29	3.22	B

## 令和7年度 学校評価 保護者アンケート（結果）

◆ 実施期間

令和7年12月8日（月）～12月24日（水）

◆ 評価基準

4 = 十分達成 (80%以上達成) 3 = おおむね達成(60%以上達成)

2 = やや不十分 (40%以上達成) 1 = 不十分 (40%未満)

◆ 回答数（※兄弟姉妹がいる家庭は、長子在籍学部にて回答）

幼12/12人 小9/10人 中3/5人 高9/9人 全体33/36人（回答率91.6%）

◆ 評価ランク

A = 3.5以上 B = 3.0以上3.5未満

C = 2.5以上3.0未満 D = 2.5未満

評価項目		幼	R6	小	R6	中	R6	高	R6	全	R6	ランク	R6	
<b>I 教育活動</b>														
1	基礎学力の定着を目指しながら、生きる力を身に付ける授業が、適切になされている。	3.50	3.78	3.56	3.67	3.33	3.14	3.44	2.33	3.46	3.23	B	B	7
2	言語力、コミュニケーション能力の向上を目指した指導やかかわりが、適切になされている。	3.67	4.00	3.67	3.67	3.67	3.29	3.22	2.33	3.56	3.32	A	B	3
3	望ましい生活習慣や社会性を身に付けるための指導が、適切になされている。	3.50	3.78	3.67	3.56	3.33	3.29	3.33	2.67	3.46	3.32	B	B	7
4	個別の教育支援計画等について、保護者と十分に話し合われた内容を基に目標を設定し、子どもたちの成長を分かりやすく説明している。	3.58	3.78	3.78	3.78	3.00	3.43	3.56	2.67	3.48	3.41	B	B	6
5	教職員の言葉遣いや態度など、教育公務員としてのマナーは適切であり、熱意をもって教育活動に当たっている。	3.50	3.67	3.78	3.67	2.67	3.29	3.67	2.67	3.40	3.32	B	B	10
<b>II 教育環境</b>														
6	子どもたちが安全安心に学校生活を送ることができるための校舎内外の環境整備や保健環境の整備に努めている。	3.67	3.89	3.89	3.78	3.33	3.57	3.56	3.67	3.61	3.73	A	A	2
7	教室の黒板や掲示板、廊下の掲示物等が工夫・整理され、子どもたちが情報を適切に収集するための環境が整えられている。	3.83	3.89	3.89	3.78	3.33	3.57	3.44	3.33	3.63	3.64	A	A	1
8	子どもたち一人一人が、自分のもつよさや能力を安心して発揮できるような、教師と子どもたちの信頼関係が構築されている。	3.73	3.56	3.67	3.67	3.00	3.29	3.56	3.33	3.49	3.46	B	B	4
<b>III 情報発信・連携</b>														
9	ホームページや各種たより、連絡帳等で、必要な情報や子どもの様子を分かりやすく伝えている。	3.42	3.33	3.67	3.67	3.00	3.14	3.56	2.33	3.41	3.12	B	B	9
10	担任や学校は保護者の声に耳を傾けて、連携を取りながら、教育活動や学校運営を行っている。	3.17	3.89	3.78	3.67	3.33	3.43	3.67	2.67	3.49	3.41	B	B	5
<b>IV 年間計画・行事</b>														
11	年間の計画は子ども、教職員、家庭にとって無理のない適切なものになっている。	2.92	3.67	3.56	3.67	3.00	3.14	3.44	3.33	3.23	3.45	B	B	12
12	学校行事(入学式や卒業式、運動会や文化祭等)や各学部行事は、子どもにとって教育効果が高く意義あるものになっている。	3.50	3.89	3.56	3.44	3.00	3.43	3.33	3.67	3.35	3.61	B	A	11
		3.50	3.76	3.70	3.67	3.17	3.33	3.48	2.92	3.52	3.53	A	A	

令和7年度 第2回 学校評価 職員アンケート

◆ 実施期間

令和7年12月1日(月)～12月19日(金)

◆ 評価基準

4 = 十分達成 (80%以上達成)      3 = おおむね達成(60%以上達成)  
 2 = やや不十分 (40%以上達成)      1 = 不十分 (40%未満)

◆ 評価ランク

A = 3.5以上      B = 3.0以上3.5未満      C = 2.5以上3.0未満      D = 2.5未満

◆ 回答数

幼11人 小13人 中9人 高17人 舎17人 事6人 全体73/74人(回答率98.633%) 前回(7月)94.9%

	幼	小	中	高	舎	事	全	ランク	順位
<b>I 学校全体として幼児児童生徒が健康で安心・安全に学ぶことができる環境を整える取り組みができたか。※ 職員個人ではなく、学校全体の取り組みとして評価してください。</b>									
1 実効的な災害訓練を行い、冷静・迅速に避難ができ、各危機管理マニュアルの見直しや火気取締責任者として施設・機器類の点検や幼児児童生徒に意識を高めるための学習や啓発を進めたか。	3.27	3.15	3.22	3.53	3.24	3.33	3.30	B	12
2 人権教育、道徳教育等を充実させ、いじめなどの課題に学部・学校として全体で取り組むことができたか。	3.18	3.23	3.22	3.47	3.35	3.33	3.32	B	11
3 保護者や関係機関と連携し、健康な身体づくり・個に応じた体力づくりを進めたり、ヒヤリハット事例を集め、全職員で共有することができたか。	3.55	3.31	3.56	3.59	3.18	3.33	3.41	B	6
4 教室等は整理整頓され、掲示物は適宜、更新し、言語環境としての掲示物を工夫できたか。	3.36	3.31	3.33	3.53	3.24	3.33	3.36	B	10
5 発達の段階に応じて、学校教育活動全体で食に関する指導の充実を図れたか。	3.55	3.54	3.33	3.41	3.18	3.17	3.37	B	8
<b>II 学校全体として卒業後の自立と社会参加をめざし、確かな学力、言語力を育成する取り組みができたか。※ 職員個人ではなく、学校全体の取り組みとして評価してください。</b>									
6 個別の指導計画と連結した授業やさまざまな活動を充実させ、そのために主体的対話的で深い学びを実現する取り組みができたか。	3.55	3.08	3.00	3.41	3.18	3.33	3.26	B	15
7 幼児児童生徒の個々の教育的ニーズに応じて指導を行い、評価や反省を次の授業や単元、次年度の教育課程や個別の指導計画に反映することができたか。	3.45	3.15	3.11	3.53	3.18	3.33	3.30	B	12
8 各学部、発達段階に応じて、卒業後や社会人をイメージした学習(体験的な活動や各種検定)を意識的に取り組むことができたか。(キャリア教育の推進)	3.36	3.00	3.33	3.65	2.94	3.17	3.25	B	18
9 ICT機器(パソコンやタブレット、アプリなど)や新聞などの教材・教具をさまざまな学習に応じて積極的に活用し、学力や言語力の向上に取り組むことができたか。	3.18	3.31	3.33	3.41	3.06	3.33	3.26	B	15
10 読書指導及び学校図書館の活用を推進できたか。	3.36	3.23	3.33	3.35	3.06	3.33	3.26	B	15
<b>III 学校全体として聴覚障害教育の専門性を発揮し、地域のニーズに応じた支援や広報活動を充実させる取り組みができたか。※ 職員個人ではなく、学校全体の取り組みとして評価してください。</b>									
11 保護者や関係機関等との連携を深め、早期教育及び一貫教育の充実を努めたか。	3.55	3.46	3.33	3.71	3.29	3.67	3.49	B	3
12 地域(県内)のセンター的機能を発揮するため、聴覚障害教育、特別支援教育に関する研修を深め、理解啓発や活動に取り組むことができたか。	3.64	3.38	3.56	3.71	3.29	3.50	3.51	A	2
13 各広報誌の発行やホームページの積極的な更新を進め、広く県民への広報に努めたか。	3.36	3.38	3.33	3.47	3.00	3.00	3.27	B	14
14 手話言語条例の施行に伴い、聴覚障害(児)者の理解、手話に関する知識と技能の向上に努めたか。	3.36	3.38	3.33	3.59	3.41	3.50	3.44	B	4
15 近隣の学校や居住地や他県の聾学校などと共同で学習に取り組み、それぞれで継続して交流を深めることができたか。	3.27	3.54	3.44	3.59	3.18	3.50	3.41	B	6
<b>IV 職員個人として服務規律の厳正確保に努め、業務改善を推進する取り組みができたか。</b>									
16 人権意識を高くもち挨拶や言葉遣いなど保護者の信頼を得られたり、幼児児童生徒に指導したりすることができたか。	3.55	3.15	3.33	3.76	3.29	3.50	3.44	B	4
17 毎週水曜日の定時退校日(1アクション)を徹底するとともに7時解錠19時施錠を推進できたか。	3.45	3.62	3.67	3.88	3.59	3.50	3.64	A	1
18 協働する人間関係づくりを進め、交通法令の遵守及びメンタルヘルスの安定を図れたか。	3.45	3.31	3.44	3.65	3.18	3.00	3.37	B	8
19 学校評価の結果や授業や行事の反省を受け、具体的な改善策を検討・実施できたか。	3.09	3.15	3.22	3.53	3.18	3.00	3.23	B	19
20 各校務分掌で業務の簡素化・効率化に取り組めたか。	2.91	3.08	3.00	3.29	3.06	3.00	3.08	B	20
平均	3.37	3.29	3.32	3.55	3.20	3.31	3.35	B	

令和7年度 第1回 学校評価 職員アンケート【7月実施分】

◆ 実施期間

令和7年7月1日(月)～7月18日(金)

◆ 評価基準

4 = 十分達成 (80%以上達成)      3 = おおむね達成(60%以上達成)  
 2 = やや不十分 (40%以上達成)      1 = 不十分 (40%未満)

◆ 評価ランク

A = 3.5以上      B = 3.0以上3.5未満      C = 2.5以上3.0未満      D = 2.5未満

◆ 回答数

幼12人 小12人 中10人 高16人 舎18人 事6人 全体74/78人(回答率94.9%)

	幼	小	中	高	舎	事	全	ランク	順位
<b>I 学校全体として幼児児童生徒が健康で安心・安全に学ぶことができる環境を整える取り組みができたか。※ 職員個人ではなく、学校全体の取り組みとして評価してください。</b>									
1 実効的な災害訓練を行い、冷静・迅速に避難ができ、各危機管理マニュアルの見直しや火気取締責任者として施設・機器類の点検や幼児児童生徒に意識を高めるための学習や啓発を進めたか。	3.50	3.17	3.30	3.50	3.39	3.33	3.38	B	6
2 人権教育、道徳教育等を充実させ、いじめなどの課題に学部・学校として全体で取り組むことができたか。	3.17	2.83	3.00	3.31	3.17	3.17	3.12	B	19
3 保護者や関係機関と連携し、健康な身体づくり・個に応じた体力づくりを進めたり、ヒヤリハット事例を集め、全職員で共有することができたか。	3.33	3.17	3.30	3.50	3.22	3.33	3.31	B	10
4 教室等は整理整頓され、掲示物は適宜、更新し、言語環境としての掲示物を工夫できたか。	3.58	3.17	3.00	3.38	3.33	3.20	3.30	B	11
5 発達の段階に応じて、学校教育活動全体で食に関する指導の充実を図れたか。	3.50	3.25	3.30	3.44	3.11	3.20	3.30	B	11
<b>II 学校全体として卒業後の自立と社会参加をめざし、確かな学力、言語力を育成する取り組みができたか。※ 職員個人ではなく、学校全体の取り組みとして評価してください。</b>									
6 個別の指導計画と連結した授業やさまざまな活動を充実させ、そのために主体的対話的で深い学びを実現する取り組みができたか。	3.33	2.83	2.80	3.31	3.11	3.20	3.11	B	20
7 幼児児童生徒の個々の教育的ニーズに応じて指導を行い、評価や反省を次の授業や単元、次年度の教育課程や個別の指導計画に反映することができたか。	3.17	3.17	3.00	3.38	3.06	3.20	3.16	B	17
8 各学部、発達段階に応じて、卒業後や社会人をイメージした学習(体験的な活動や各種検定)を意識的に取り組むことができたか。(キャリア教育の推進)	3.17	2.83	3.20	3.56	3.06	3.20	3.18	B	16
9 ICT機器(パソコンやタブレット、アプリなど)や新聞などの教材・教具をさまざまな学習に応じて積極的に活用し、学力や言語力の向上に取り組むことができたか。	3.17	3.17	3.20	3.50	3.06	3.00	3.21	B	14
10 読書指導及び学校図書館の活用を推進できたか。	3.42	3.08	3.10	3.27	3.11	3.25	3.20	B	15
<b>III 学校全体として聴覚障害教育の専門性を発揮し、地域のニーズに応じた支援や広報活動を充実させる取り組みができたか。※ 職員個人ではなく、学校全体の取り組みとして評価してください。</b>									
11 保護者や関係機関等との連携を深め、早期教育及び一貫教育の充実を努めたか。	3.92	3.33	3.40	3.38	3.17	3.50	3.42	B	4
12 地域(県内)のセンター的機能を発揮するため、聴覚障害教育、特別支援教育に関する研修を深め、理解啓発や活動に取り組むことができたか。	3.83	3.25	3.50	3.50	3.17	3.80	3.45	B	3
13 各広報誌の発行やホームページの積極的な更新を進め、広く県民への広報に努めたか。	3.75	3.00	3.50	3.63	3.00	3.20	3.34	B	9
14 手話言語条例の施行に伴い、聴覚障害(児)者の理解、手話に関する知識と技能の向上に努めたか。	3.50	3.17	3.60	3.44	3.17	3.40	3.36	B	8
15 近隣の学校や居住地や他県の聾学校などと共同で学習に取り組み、それぞれで継続して交流を深めることができたか。	3.75	3.42	3.30	3.31	3.11	3.60	3.37	B	7
<b>IV 職員個人として服務規律の厳正確保に努め、業務改善を推進する取り組みができたか。</b>									
16 人権意識を高くもち挨拶や言葉遣いなど保護者の信頼を得られたり、幼児児童生徒に指導したりすることができたか。	3.50	3.08	3.50	3.50	3.33	3.67	3.41	B	5
17 毎週水曜日の定時退校日(1アクション)を徹底するとともに7時解錠19時施錠を推進できたか。	3.33	3.42	3.70	3.81	3.56	3.67	3.58	A	1
18 協働する人間関係づくりを進め、交通法令の遵守及びメンタルヘルスの安定を図れたか。	3.42	3.42	3.50	3.69	3.50	3.50	3.51	A	2
19 学校評価の結果や授業や行事の反省を受け、具体的な改善策を検討・実施できたか。	3.33	2.92	3.20	3.44	3.17	3.33	3.23	B	13
20 各校務分掌で業務の簡素化・効率化に取り組めたか。	3.08	2.92	3.30	3.25	3.06	3.33	3.14	B	18
平均	3.44	3.13	3.29	3.45	3.19	3.36	3.30	B	